

富山県朝日町

議会だより



第78号

平成25年8月1日



夏が来た!!
待ってましたプール開き

ひまわり幼稚園

第2回議会定例会

■ 25年度補正予算、条例制定など	2～3
代表質問 2名	4～6
一般質問 6名	7～12
■ 常任委員長報告	13
■ 議会日誌 4月～6月	14

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133

☎0765-83-1100(代)

**平成25年度補正予算、平成24年度
専決補正予算、条例制定、人事案
件など16議案を可決・承認・答申**

平成25年第2回議会定例会は、6月5日から21日までの17日間にわたり開催され、25年度補正予算や24年度専決補正予算、条例制定案などが審議され、原案のとおり可決・承認されました。
また、人事案件については、原案を適当とする意見が答申されました。

25年度補正予算の主なもの		1万円未満切捨て
一般会計（補正第1号）	補正総額	1億9,360万円
老人福祉施設費		2,520万円
職業安定対策費		1,090万円
水田農業生産振興対策事業		△121万円
造林事業		1,308万円
企業立地奨励事業		1億3,298万円
図書館整備費		787万円

24年度専決補正予算の主なもの		1万円未満切捨て
一般会計（補正13号）	補正総額	1億2,531万円
小学校跡地施設整備事業		△1,210万円
障害者福祉費		△1,618万円
重度心身障害者等医療費		△968万円
生活環境施設等整備事業貸付金		△2,100万円
職業安定対策費		△1,908万円
除雪対策費		△894万円
施設管理運営費		△1,802万円
図書館整備費		△2,941万円
財政調整基金		1億51万円
減債基金		5,019万円
予備費		1億9,744万円
特別会計	補正総額	△1,765万円
国民健康保険		△333万円
簡易水道		△647万円
下水道		△785万円

永年勤続議員表彰

6月5日に開会した議会定例会において、水島一友、大森憲平両議員が町議会議員として、15年の永きにわたり地方自治の振興と町発展に尽力された功績を称え、議決をもって議会から表彰されました。



水島 一友 議員



大森 憲平 議員

第 2 回 定 例 会 審 議 結 果

※議決日は6月21日（議案第42号のみ6月5日）

議案番号など	件 名	審議結果
議案第38号	平成25年度朝日町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第39号	朝日町職員の給与の臨時特例に関する条例制定の件	〃
議案第40号	朝日町後期高齢者医療に関する条例一部改正の件	〃
議案第41号	朝日町都市公園条例一部改正の件	〃
議案第42号	消防ポンプ自動車購入契約締結に関する件	〃
議案第43号	町道路線の変更の件	〃
議案第44号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第2号 平成24年度朝日町一般会計補正予算（第13号）	原案承認
議案第45号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第3号 平成24年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第46号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第4号 平成24年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第47号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第5号 平成24年度朝日町下水道特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第48号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第6号 朝日町税条例一部改正の件	〃
議案第49号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第7号 朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	〃
議案第50号	旧朝日町立五箇庄小学校跡地施設整備工事建築主体工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第51号	旧朝日町立五箇庄小学校跡地施設整備工事機械設備工事請負契約締結に関する件	〃
議案第52号	旧朝日町立五箇庄小学校跡地施設整備工事電気設備工事請負契約締結に関する件	〃
報告第1号	地方自治法施行令第146条第2項の報告の件 平成24年度朝日町繰越明許費繰越計算書	受 理
諮問第1号	人権擁護委員候補者を推薦するため意見を求める件 （当局原案は河村智明氏（平柳2区）を候補者として推薦するもの）	答申 （原案適当）
陳 情	東日本大震災により生じた災害廃棄物（ガレキ）の広域処理計画の中止を求める陳情書	不採択
陳 情	朝日町環境基本条例の制定を求める陳情書	〃

議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局に問い合わせください。
ホームページでもご覧になれます。<http://www.town.asahi.toyama.jp/>

町の企業誘致 政策について

西岡 良則（グループ22）



工場跡地の取得経過と 企業誘致について

質問 6月補正予算に企業立地

奨励事業として、1億3298万円の用地買収費が計上されているが、取得するに至った経過と、今後の企業誘致に向けた町の取り組みは。

答弁 大井商工観光課長（株）

SS道下工場跡地の用地取得については、丸川病院より、新病院建設に伴って、土地を町で取得してほしい旨の要請を受けたことから、昨年10月に議会とも協議し、所有者と交渉を行ってきた。

当該病院の入善町移転に伴い、この土地で予定していた新病院建設の見込みがなくなったが、同時に工場用建物を探している企業があるとの情報を得た。この企業は電子部品製造会社で、ラインの

効率化と経費の軽減を図るため工場を集約するという計画を持っており、できるだけ早く工場集約をしたいとの意向だったことから、早急に協議を進めた。

このような経過の中で、企業誘致活動として、工場の建物と土地の取得に向けて交渉を進めたところ、取得価格と抵当権の抹消などについて合意が得られたことから、本年4月15日に売買契約を締結した。

取得価格は、土地は課税標準額のもととなる直近の不動産鑑定価格で算定し、建物は課税標準額を基本として、土地・建物で1億3298万円となった。

その後、この電子部品製造会社と土地・建物の賃貸契約を4月22日に締結した。順次生産ラインを移動して、5月20日から全てのラインが稼働し、現在約60名が従事している。

企業誘致は、活力あるまちづくりに欠かすことのできない重要な課題である。新規の誘致は大変厳しい状況にあるが、今後とも、雇用拡大と町の活性化に向け誘致活動を展開するとともに、既存町内企業への支援に努めたいと考えている。

再質問 土地を購入する場合に

は、建物が無いものという考え方で買わなければ、解体費用などが必要となる。今回の購入の仕方についての町の考えは。

再答弁 竹内副町長 当初は、

例えば建物を役場の重機庫に転用して活用ができるのではないかとすることも検討していたが、この企業が建物も活用したいという意向をもっていたことから、今回の賃貸契約締結となった。

少子高齢化と

人口の減少対策について

質問 今年3月に厚生労働省の

国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来推計人口では、2040（平成52）年の朝日町の人口の減少率は2010（平成22）年と比較して44・7％と県内で最も大きく、老年人口の割合が48・9％、

年少人口は6・9％との予測発表

がされた。

人口の減少や少子高齢化は、町の活力や生産能力の低下につながるかねず、この問題について町の考えと方策を問う。

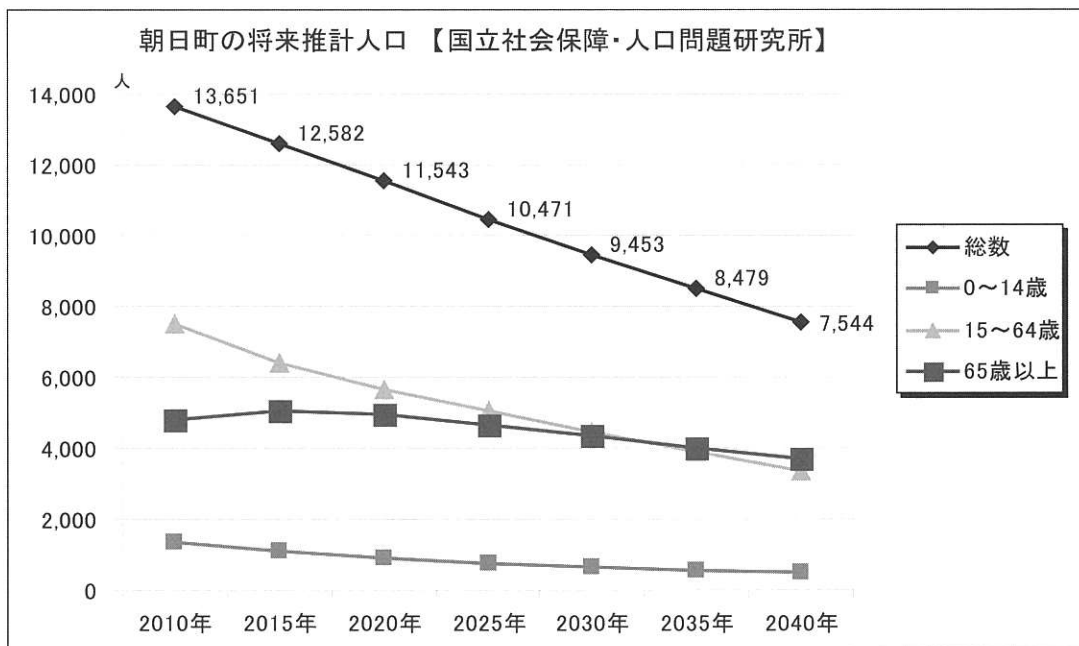
答弁 町長 この推計によると、

当町における人口は、平成22年の国勢調査では1万3651人だが、30年後には7544人になると予測をしている。これらの対策には即効性のある決め手がないのが実情で、一朝一夕に効果を上げることはできないが、町の魅力や、この町に住んでよかったという安心あるいは充実が実感できる施策が必要である。

これまでの具体的な取り組みとしては、子育て・少子化対策では、すこやか誕生券支給事業、中学生まで対象を拡大した医療費助成事業、不妊治療費助成事業、乳幼児・障害児保育、早朝・延長保育など保育環境の整備、あるいは保育料の減免、子どもの居場所づくり事業などによる児童の健全育成、ひとり親家庭などへの支援など、子どもを安心して生み育てられる環境をつくるための支援策に取り組んできた。

町内での定住対策、転入支援施策としては、住宅取得奨励金制度、転入奨励金制度、町分譲宅地購入

朝日町の将来推計人口【国立社会保障・人口問題研究所】



者紹介報奨金制度などといった定住サポート事業を展開している。また、平成24年度からは既存住宅リフォーム助成事業にも取り組んでいる。

就業支援、雇用機会の創出に係る取り組みとしては、雇用創出奨励金のほか、企業立地奨励事業補助金、企業立地貸付金、とやま企業立地セミナーへの参加など、就業・雇用の基盤となる企業立地・招へいに全力を傾注しているところである。

女性の就業活動支援については、育児・介護休業からの再就職に向けた能力開発訓練などの情報提供など、多くの女性が求めるサポートや取り組みについても研究したいと考えている。

さらに、商業振興・買い物支援対策、あるいは地域の賑わい創出、町民が集い、ふれあう場の拠点確立、そのための泊市街部における五差路周辺複合施設や、新図書館と明治記念館との一体整備といった事業を進めているところである。



採血して行われる胃がんリスク判定検査

質問 高額な医療費を要する病気に罹らないために、ピロリ菌検査など病気の早期発見、早期治療での予防医療が大事であり、どのように取り組んでいくのか。

答弁 町長 胃がんリスク判定

検査事業は、本年度の新たな取り組みとして実施するもので、簡易な血液検査で、胃の中にピロリ菌が感染しているかどうか、また、胃粘膜の萎縮度を調べ、胃がんになりやすいかどうかを判定する。

稲村

功（日本共産党）

国民健康保険

会計について



対象者は40歳から70歳までの5歳刻みの節目年齢者で、5月末に受診券を郵送した。特定健診の集団健診会場において、希望者に検査をしていきたい。このほか骨粗鬆症などの検診も実施する。これらを積極的に利用してもらうことで、ひいては町の国民健康保険の健全化につなげていきたい。

再質問 国民健康保険会計に対する国庫負担の増額を国に働きかけることが必要ではないか。

再答弁 町長 国民健康保険の国庫負担の拡充・強

化については、全国町村会が国に対し国庫負担割合の増額の要望を行っているほか、国保中央会、全国知事会などでも国庫負担の引き上げを含む基盤強化策の早期実施を求める陳情を行っている。

全国的にも国保会計が大変危機的な状況にある中で、力を合わせて国に対して働きかけたい。

下水道事業について

質問 二級河川小川から西の地域の下水道を入善町と共同で処理できないか。また、必ずしも下水道ではなく、合併処理浄化槽で進めたほうがよい地域があるのではないか。

答弁 坂口建設課長 小川から西側の下水道整備計画については、今年度から本格的な事業に着手し、湯ノ瀬、羽入を除く山崎地区および大家庄地区を平成34年度の完成を目標に事業を進めている。現計画では、地形の勾配に合わせて南から北へ下水を流し、最終的には三枚橋地内で小川を横断して、月山地区にある既存の下水道管と接続することになっている。

入善町の処理場へ汚水を流す場合、新たな下水道管の布設やポンプ場の新設など、さらなる工事費

や調査設計費などが必要となり、入善町との共同処理については考えていない。

合併処理浄化槽での対応については、大平、笹川地区の一部、蛭谷、谷、湯ノ瀬、羽入とし、このほかの区域は、下水道事業で整備する。

並行在来線について

質問 第三セクター移行後は、普通列車のほとんどが泊駅で止まるため、糸魚川駅までの便を増やすとともに、黒部駅止まりを泊駅まで延ばすよう県に求めるべき。

また、特急が全てなくなるのであれば、県が代替として快速列車を走らせ、糸魚川駅まで運行するよう求めるべきだと考えるが。

答弁 町長 並行在来線が現状より不便になることに関して、町長として町民の利便性という観点から大変懸念をしている。並行在来線対策協議会や県に対して、これらのことを機会あるごとに要望している。

再質問 経営安定基金の朝日町負担が富山市、高岡市に次いで県下で3番目に高額なのは、どう見ても理不尽である。本来、負担金は人口や市町村の財政規模や在来

線の利用実態などをもとに算定されるべきではないか。

再答弁 町長 並行在来線の経営安定基金は、3億1300万円を10年間に分けて拠出していくものである。

拠出金の根拠は、新幹線の路線延長が富山市に次いで長いということから、その分、固定資産税の増収も多くなり、県内で3番目に高いものとなった。

拠出割合は、並行在来線対策協議会で検討されており、町としては協議会の場において、並行在来線の利用促進対策に費用が必要なこと、並行在来線の利用者数も考慮すべきであることなどの意見を述べてきたが、最終的には市長会長、町村会長と知事の協議に委ねられ、基金の額が決定した。賛否両論あると思うが決定事項であり、これに従って拠出していきたい。

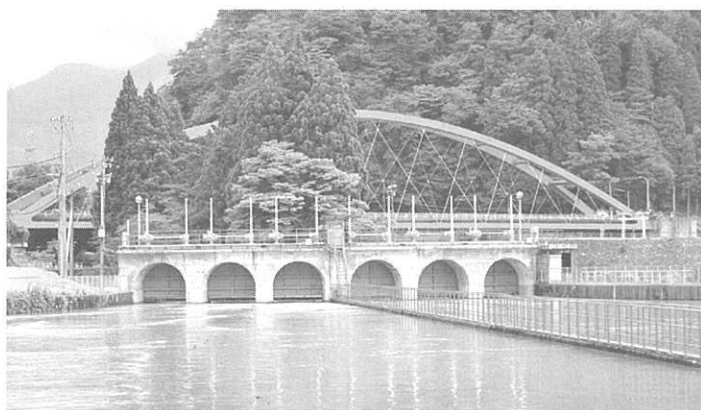
黒東合口用水の水利権の見直しについて

質問 来年度は合口用水の水利権の見直しがあるが、合口用水の水は、農業用だけでなく、地下水の涵養にも重要である。四千石用水、下山用水の水を使った水田のために取水量を減らしてはなら

ないと考えるが。

答弁 小川農林水産課長 本用水は、黒部川より取水していることから、河川法に基づき、10年ごとに水利権の更新を行うこととされている。次回は平成27年3月が更新時期である。

現在、新川農林振興センターで必要水量に関する調査が行われており、関係土地改良区の協議を経て、平成26年度に国土交通省との協議がなされるスケジュールであると聞いている。今後とも県の情報を逐次把握し、従来の水量確保がなされるよう努めていきたい。



愛本橋近くにある黒東合口用水取水閘（黒部市宇奈月町中ノ口）

子育て支援について

長崎 智子



第2児童館の開設について

質問 町長は所信表明で、第2児童館の建設を公約しているが、平成26年6月の任期まで公約どおり実現できるのか。

答弁 町長 公約をほごにして

いるつもりはない。放課後や夏休みなどに児童が友だちと触れ合うことの大切さを感じる場所として、児童館は大きな役割があるが、児童館の建設に限らず、放課後における子どもの居場所の確保は、必要であると考えている。

先般、大家庄・山崎・南保各地区の自治振興会から連名で要望書が出された。その際の話では、新たな建物を求めるものではなく、児童館的な機能を有する子どもの居場所の確保を要望されたと受けとめている。より良いものになるよう、中身で協議をしたいと考えて

ている。

再質問 児童館は、子どもの居場所づくり事業や放課後子ども教室とは問題の質が違うと思うが。

再答弁 町長 児童館というのは館であり、専任の指導員を配置

する必要がある。放課後児童クラブなどの事業は制度的なものであり、例えば学校の空き教室や地区公民館などで、指導員のもと、子どもたちは安全な環境で遊べるというものである。全国的には、児童館や空き教室で放課後児童クラブを運営しているところもある。

町道湯ノ瀬北又線の段階的整備について

質問 町道湯ノ瀬北又線で昭和55年に起きた車両の転落事故から三十数年経過している。町のシンボルである朝日岳への道路をなぜ

再質問 危険箇所には防護柵などの安全施設の設置に努めているが、過去にたびたび転落事故が発生し、10名の尊い命が失われていることか

再答弁 町長 人の命が大切であり、万が一何かあったときには、道路管理者として責任を問われることになる。公安委員会からも、現状においては一般開放できないという指導があり、一般開放するための工事も大変な費用がかかる。当面、安全対策を抜かりなく実施していく考えである。

一般開放しないのか。

答弁 坂口建設課長 町道湯ノ

瀬北又線は、小川温泉元湯を起点とし、北又に至る全長10・5キロメートルの山岳道路であり、昭和62年7月に町道認定されている。しかし、町道認定に際し、道路構造上の問題があることから、公安委員会の指導を受け、通行制限を行うこととなった。

危険箇所には防護柵などの安全施設の設置に努めているが、過去にたびたび転落事故が発生し、10名の尊い命が失われていることか

ら、安全確保の観点で工事車両、電力施設や山林管理に必要な車両などに限り、通行を許可している。この道路は、部分的な改良では安全な通行を確保できず、新しいルートを含めた抜本的な改善であれば膨大な費用がかかることになることから、従来どおり一般車両の通行制限を続けていきたい。

再質問 公安委員会からの指摘を受けて、町当局ではどのような努力をしたのか。

再答弁 坂口建設課長 転落防

止のための安全施設の設置、また、のり面の落石を防ぐための工事をやって、許可車両に事故がないよう措置を取ってきた。

再々質問 まず一般開放して、それから一つひとつ問題が起きた場合にクリアしていけばいいのではないか。

再々答弁 町長 人の命が大切であり、万が一何かあったときには、道路管理者として責任を問われることになる。公安委員会からも、現状においては一般開放できないという指導があり、一般開放するための工事も大変な費用がかかる。当面、安全対策を抜かりなく実施していく考えである。

町道湯ノ瀬北又線の起点にある通行制限のためのゲート



移住促進について

加藤 好進



宿泊体験

モデルハウスについて

質問

当町への移住を真剣に考えている人たちが、効果的な移住の判断をするための宿泊体験ができるモデルハウスの設置を望む。

答弁 小杉企画政策室長

今年度、古民家を活用した民泊体験モデル事業を計画している。これは、笹川地区の古民家で民泊を受け入れて、宿泊体験を通じた交流事業を行うものである。

団塊世代を中心とした都市部からのＵターン、Ｉターンなど他市町村から朝日町への移住検討の一助としても活用され、移住につながることを期待している。

町としては、この事業の実績やニーズを検証し、海岸部や街部など、今考えている笹川地区以外での事業展開、また、古民家の大規模改修によるモデルハウスの設置

などについても、検討していきたいと考えている。

再質問

民泊を受け入れる古民家の件数と時期は。

再答弁 小杉企画政策室長

笹川自治振興会と事業の契約をしており、現在、古民家２軒を紹介してもらっている。今後、若干の改修などを進めるが、具体的な時期についてはこれからである。

北陸新幹線開業時の

二次交通について

質問

北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅から当町への観光客や一般利用者の二次交通アクセスへの対応は。

答弁 町長

県が行った調査によると、黒部宇奈月温泉駅の１日当たりの推計乗降客数は２７００人。また、路線バスが整備されると仮定し、当町や入善町と黒部宇

奈月温泉駅との移動に路線バスを利用する人は、５０人程度という調査結果が出ている。このことから、黒部宇奈月温泉駅までバスを運行しても、相当の赤字が予想され、費用対効果からすると、路線バスの実現は難しい状況である。

今後、来訪者にとっても町民にとっても利用しやすい黒部宇奈月温泉駅までのアクセスについて、黒部市や入善町と協議を進めていきたい。

越中宮崎駅周辺整備について

質問

富山県の東の玄関口となる越中宮崎駅について、観光誘客



しなの鉄道・中軽井沢駅を視察する越中宮崎駅周辺活性化検討会

や地域の活性化に向けて周辺整備検討会が設置されたが、進捗状況は。

答弁 大井商工観光課長

越中宮崎駅周辺活性化検討会は、駅を利用し、周辺の活性化を地域の発展に結びつけようという観点から、宮崎地区４名、境地区２名、商工会１名、観光協会１名の計８名で構成されている。

３月には先行事例として、長野県のしなの鉄道を視察し、５月には整備や運営の主体などについて、検討会としての重要度を決めて、来年度予算編成前までに町に報告するという事になった。

今後は、先行事例などを参考に協議し、オートキャンプ場やパークゴルフ場、城山など既存の観光資源も生かすことができるような越中宮崎駅周辺活性化に向けた検討を進めていく。

再質問

越中宮崎駅周辺整備は、廃業した旅館の取り壊しが避けては通れない問題である。地区自治振興会も方法を模索しており、行政の理解が必要だと思うが。

再答弁 町長

債権者や土地所有者との話し合いが第一だと考えている。自治振興会からも要望されており、問題意識は十分持っている。

訪れたい魅力ある 地域づくりについて

大森 憲 平



海水浴場の整備について

質問 ヒスイ海岸などでの海水浴は、観光客に喜ばれるためにきれいで安全であるべきであり、どのような整備などを考えているか。

答弁 大井商工観光課長 魅力

ある海岸整備のためにも、海岸の侵食対策や環境整備について国や県に要望している。緩傾斜護岸や離岸堤工事などが施工されており、引き続き海岸事業の促進を要望したいと考えている。

海岸環境の保全については、宮崎・境海岸の排水路や側溝の清掃、防護柵や根固めの補修も、重ねて要望している。

特に海岸清掃は、毎年7月を町民総ぐるみ清掃月間と定め、清掃デーには地域住民や事業所、行政機関、町職員などにより海岸の清掃活動を行っている。

今後とも関係機関と連携を図り

ながら、安全で美しい海岸保全に努めたい。

再質問 海岸にはテトラポッド周辺や、急に海が深くなる箇所があるなど危険も多く、対策を取る考えはないか。

再答弁 大井商工観光課長 注意看板の設置や遊泳区域の設定など、県内の海水浴場を調査し、対応策などを検討したい。

空き家の活用について

質問 現在、町内でどのくらいの空き家があるか。改修して住むことができるか、また第三者への貸し出しが可能か、といったことを調査したことがあるか。

答弁 小杉企画政策室長 町ではこれまで3回にわたり、役場本庁職員の聞き取りによる空き家実態調査を行ってきた。

平成22年に実施した調査では、

空き家が492棟あるうち、すぐに居住が可能な状態の家は30棟、その中でも希望者がいれば売りたい、貸したいという所有者は、調査時点で14あった。

町では、こうした情報をもとに、空き家情報を求める賃借または購入希望者と、空き家所有者との橋渡しを行っているが、所有者の大半が「帰省の際に利用するので、当面は売ったり、貸したりするつもりはない」など、実際に賃貸借や売買が可能な物件はかなり少ない状況である。また、居住するには修繕や改修が必要な家屋も多い。

このような中、平成22年度以降3年間の実績は、問い合わせ件数が57件で、賃貸借・売買契約成立が13件。うち町外からお越しになった方が8件あった。町としては、物件が少ない中でも一定の成果を挙げているものと考えている。

芸妓のいる町のPRについて

PRについて

質問 芸妓が活躍している朝日町をもっとPRし、いろいろなイベントに参加要請していくべき。また芸妓組合への補助金を増額する考えはないか。

答弁 大井商工観光課長 泊芸



あさひ桜まつりの舞台に立つ泊芸妓

妓組合では、日本花柳流家元の指導を受けており、宿場町であった当町の歴史文化を継承するための施策の一つとして、補助金を芸妓組合に対して交付している。

宴席のほかにも桜まつりや紅葉まつりなどで芸を披露する機会があり、その都度、主催者より謝礼が支払われている。

北陸新幹線開業後は、東京方面からの日帰り旅行を滞在型観光へと変換するための鍵として、芸妓のいる町をPRするとともに、芸妓や料亭、観光協会などと相談しながら、町として芸妓の支援について検討したい。

安心安全な

まちづくりについて

笹原靖直



あさひ総合病院の

経営改善検討委員会について

質問

第1回経営改善検討委員会を踏まえ、町の課題と取り組みなど、具体的な内容はどのようなものであったか。

答弁 山崎あさひ総合病院事務部長

あさひ総合病院の経営体制のあり方やあるべき姿、役割と進むべき方向などに関する方策を講じるため、去る6月3日に第1回の委員会を開催した。

委員は、中央の学識経験者や富山大学附属病院教授、下新川郡医師会代表、朝日町自治振興会連絡協議会代表、町側からは副町長と病院長の8人で構成し、助言者として、富山県から市町村支援課と医務課に参加してもらった。

委員長に塚田一博富山大学附属病院長、副委員長に城西大学の伊

関友伸教授を選出し、事務局側から当病院の収益的収支の状況や入院・外来患者数、常勤医師数の推移などを説明した。

伊関教授からは、北陸三県の自治体病院間の医師給与や繰入金、未処理欠損金などの各種データの比較や、当病院の置かれている状況も解説してもらった。

各委員からは、若い医師が各学会で定める資格を取得できる体制の整備や、医師給与などの処遇改善、骨粗鬆症予防など高齢者向けの診療内容のPRなど、主に医師確保に向けての意見をもらった。

2回目の会議は11月上旬に予定しており、その後は各委員から提案された意見を基に取りまとめられた報告書が作成され、早ければ年内に町長に提出される。

再質問

医師や看護師不足の解消のため、看護師の調整手当や、大学病院とタイアップした医師に

対しての奨学金制度の設立について、検討すべきではないか。

再答弁 山崎あさひ総合病院事務部長

最終的に2回目の会議が終わった後、正式な報告書に医師の調整手当も当然出てくるものと思う。医師や看護師の調整手当、あるいは住居の関係、それから5、6年先を見据えた医師の奨学金などについては、前向きに考えたい。

円滑な町政運営について

質問

何か問題が生じたときに、議会との連携を密にすることが町当局の仕事だと思っている。

今回予算計上された株式会社土地取得について4月15日に契約締結したことを、議員は一切知らなかったが、これで決して円滑な町政運営だとは思っていない



町が取得した用地で創業している工場

ない。情報交換の場を素早く作るということが重要である。町民は結果を求めている、鋭意努力をお願いしたい。

6月1日に佐藤正久参議院議員が来町し、講演を聞いた。彼は元自衛隊員で、命がけで活動されている一人である。30分余りの間に、私も涙を流し感動した。「汗をかけ。汗をかかないなら、知恵を出せ。汗も知恵も出せないなら、辞表を出せ」。国会議員として結果を求められる方である。

私たち議員もだが、町長も職員もそうした腹づもりで町政運営に当たってほしい。

丸川病院の移転については、議会がどのように関わればベストだったのか。

答弁 町長

最終的には丸川病院側が判断されたことであるが、情報をいち早くつかんでいれば、また議員からも情報を寄せてもらえば、早く対応ができたかもしれない。議員が町民に「何をしていただんだ」と言われるようなことがあるとすれば、これは町長の責任である。的確に判断をして、間違いない方向に町政を運営することが求められていると痛感しているので、議会の協力もお願いしたい。

町の成長戦略について

水野 仁士



少子高齢化による人口減について

質問

町の人口が急激に減少しているが、このままだと集落の廃村や高齢者だけの集落が出てくると予想される。町主導で集落の合併、再編成に取り組む考えは。

答弁

町長 4月現在で、町には117町内会があるが、65歳以上がその町内会で占める割合（高齢化率）が40%を超えている町内会は55ある。うち50%を超えているのが8町内会ある。

それぞれの町内会には、独自の歴史的な背景、つながり、コミュニティのもとに結成された経過があり、行政として合併や再編を主導することはないと考えている。最近では、お互いの町内会が話し合い、合意のもとに合併に至った町内会の例がある。

山・川・海の連係のとれた観光について

質問

北陸新幹線開通に向けて

山・川・海の連係のとれた当町の観光成長戦略はあるか。

答弁 大井商工観光課長

新幹

線の開業を大きな契機と捉え、既存観光資源のブラッシュアップ（磨き上げ）や埋もれている資源の発掘、体験型・着地型旅行商品や新たな特産品、お土産品の開発、接客サービス向上や観光情報の発信、観光案内の充実などにより、町の活性化に不可欠な交流人口の増大に努めたい。

町内においては現在、あさひふるさと体験推進協議会が体験活動受け入れの中心となり、各種団体の調整を図っている。山から海までを満喫できる観光には体験活動は欠かすことのできない要素であり、あさひふるさと体験推進協議会の果たす役割は、より一層重要になってくることから、町としては、その活動に対する支援を強化していきたい。

一方、観光協会は、昨年度にヒスイ鑑定ガイドを育成し、鑑定グループを立ち上げた。今年度は朝日岳の登り口である小川温泉から北又谷までの歴史や植物などについてガイドする山のガイド育成に取り組んでいる。

観光イベントの企画や情報発信においては、行政では踏み込みに



昨年、観光協会で行われたヒスイ鑑定ガイド養成講座

くい部分もあることから、町の観光振興にとって、観光協会は欠かすことのできない存在である。新幹線の開業に向けて、観光協会の組織体制や取り組む事業の検討が必要であると考えている。

再質問

海・山・川を含めた観光案内ができるガイドの養成ができないか。

再答弁 大井商工観光課長

海

と山を一緒にしたガイドとなると、ジャンルが離れており、詳しい説明は難しいと考える。

指定管理団体について

蓬澤 博



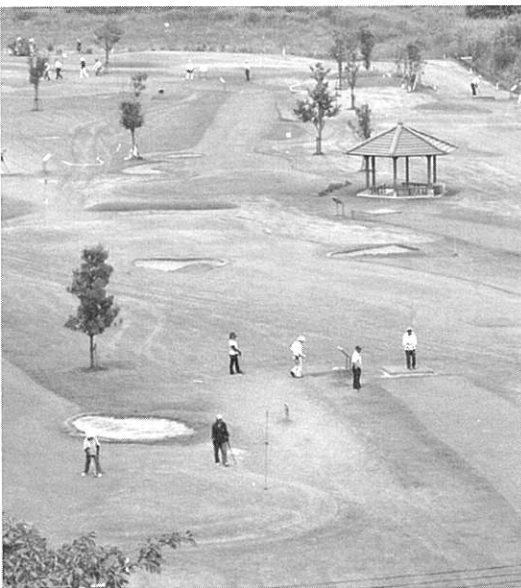
質問 各課で様々な指定管理団体を管理監督しているが、業務管理と財務・資産管理を分離してはどうか。

答弁 町長 今日の行政業務はますます専門性が高まっているところであり、それぞれの担当部署で予算執行を担うことはもちろんのこと、業務の趣旨や計画、進行管理を含めた管理運営全般の知識

が必要なことから、これまでと同様、それぞれの事業目的に沿った担当部署で執り行うこととしていきたい。

再質問 設置の目的に沿って指定管理団体をそれぞれの課が管理監督しているという答弁だが、パークゴルフ場は建設課の業務の範囲に沿っているのか。

再答弁 竹内副町長 パークゴルフ場には、芝の管理が非常に大事である。現時点で芝の状態が未完成な段階であり、養生などが一番大事な時期であるため、現在は造成した建設課で所管している。



増設されるあさひヒスイ海岸パークゴルフ場

再々質問 建設課がパークゴルフ場を担当して造ったから、建設課が管理するというのはいかがなものか。

のか。

再々答弁 竹内副町長 新年度で増設工事の予算を組んでいる。18ホール増設という大きな工事であり、当分の間、建設課で担当してしかるべきと考えている。

備品、消耗品などについて

質問 日常の業務遂行に必要な備品、消耗品、燃料などの調達方法はどのようにしているのか。また、町内の事業所、事業者からの納入状況はどうか。

答弁 大村財務課長 備品、消耗品などの調達方法は、財務規則に基づき契約し、予算執行をしている。

納入業者については、町内業者の育成と地域の活性化の観点から、町内業者で対応できない製品などを除き、できるだけ町内業者からの納入に努めている。

学校や保育所などの出先機関については、担当主管課の合議を経て、契約事務を行っている。

また、あさひ総合病院は、公営企業会計での調達となることから、病院独自で契約事務を行っている。指定管理者団体などの関係機関は、それぞれの運営方針に基づき調達を行っている。

再質問 あさひ総合病院はどのようなになっているか。

再答弁 山崎あさひ総合病院事務部長 重油については、ここ2年間、町外業者に発注している。公営企業は民間企業並みの経営努力が必要という理由で、安価な業者から納入している。

再々質問 自治体病院として、存立する町内事業者からの納入もあり、町外事業者からの納入もあるという姿勢が必要ではないか。

再々答弁 山崎あさひ総合病院事務部長 地元業者については尊重すべきであり、今後は見積もりを提出するようお願いしていきたいが、公営企業は合理的、能率的運営により、最少の費用で最大の効果をもたらすことこそ公共性の確保につながるものであり、理解願いたい。

再々質問 指定管理団体や町の外部団体でも、まず地元の事業主・業者を念頭に置いて考えるべきではないかと考えるが。

再々答弁 町長 民間業者には強制はできないが、町内業者で購入できるものは、町内で発注するというお互いさまの思いがあつてしかるべきと考えている。

役場、町の関係では、基本的には町内の業者から購入するようにしている。

常任委員長報告

総務産業委員会

当委員会は、6月17日及び19日の両日、午前10時から開催し、議会から付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1、町の活性化対策や企業誘致等で取得される建物や土地については、その利活用を十分に検討のうえ、適正な価格で取得されたい。
- 2、自然と文化の香るまちづくりに向けて、観光振興の推進にこれまで以上に努力されたい。
- 3、合口用水等の許可水利権の更新にあたっては、農業用水はもとより、生活用排水、防火用水等に欠かせないことから、現在の水量を確保するよう努力されたい。

次に、陳情の審査結果を申し上げます。

前回から継続審査になっております陳情1件「東日本大震災により生じた災害廃棄物（ガレキ）の広域処理計画の中止を求める陳情」につきましては、新川広域圏事務組合において、災害廃棄物の試験焼却で安全を確認した上で、5月30日から本格受け入れが実施されていることから、不採択とすべきと決しました。

民生教育委員会

当委員会は6月18日及び19日の両日、午前10時から開催し、議会から付託されました全案件は、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1、子どもの居場所づくりに関しては、児童館及び子どもの居場所づくり事業それぞれの目的と機能について地元自治振興会や

本文に掲載した記事以外の質問

◆西岡良則 議員

- 町の企業誘致政策について
- ・ 九川病院「新病院建設」に関する交渉経過と入善町移転に至った原因と町としての今後の対応について
- 町政の運営について
- ・ 今年度工事の発注計画とその進捗状況について
- ・ 町における地籍調査の状況について

◆加藤好進 議員

- 観光振興について
- ・ 観光・交流戦略について
- 防災について
- ・ 土砂災害警戒区域について

◆大森憲平 議員

- 地区公民館について
- ・ 看板及び用具の設置状況について
- ・ 各地区の公民館活動と自治振興会の関係について
- ・ 補助金について

◆稲村 功 議員

- 黒東合口用水の水利権の見直しと地下水の涵養について
- ・ 地下水の涵養について

- 北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅と糸魚川駅からの当町へのアクセスについて
- ・ どのように検討されているのか

◆長崎智子 議員

- 産業と観光の振興について
- ・ 当町の自然と文化の活性化対策について
- ・ 新幹線開通を目標にした町のPR事業展開について

◆笹原靖直 議員

- 安全安心なまちづくりにについて
- ・ 新川地域消防組合について
- 魅力あるまちづくりにについて
- ・ 民間賃貸住宅建設について

◆水野仁士 議員

- 町の成長戦略について
- ・ 企業誘致と雇用創出について

PTAと協議し、理解を得たうえで地域に合った施策を速やかに実施されたい。

ます。

新規の陳情1件、「朝日町環境基本条例の制定を求める陳情書」については、全会一致で不採択にすべきと決しました。

次に陳情の審査結果を申し上げます。

議会日誌

四月

- 22日 議会だより編集委員会
並行在来線等対策特別委員会
- 23日 東部議会議長協議会総会
- 24日 高知県吾川郡議会議長会視察受け入れ
- 26日 全員協議会・議員協議会

五月

- 8日 木曾義仲・巴関連施設等研修視察（小矢部市）



木曾義仲・巴関連施設等研修視察（5月8日）

六月

- 10日 議会運営委員会・議員協議会
- 12日 東京朝日会総会（東京）
- 16日 町村議会議長会臨時総会（富山市）
- 22日 朝日町・白馬村議会議員連絡協議会
- 24日 全員協議会・議員協議会
- 28～29日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京）
- 31日 議会運営委員会
- 4日 町村議会議長会臨時総会（富山市）
- 5日 第2回議会定例会本会議（提案理由説明・細部説明・質疑）
- 7日 議会運営委員会
- 13日 本会議（代表・一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 17日 総務産業常任委員会
- 18日 民生教育常任委員会
- 19日 総務産業常任委員会
- 21日 民生教育常任委員会
- 25日 議会運営委員会・本会議（委員長報告・討論・採決）
- 町村議会議長協議会臨時総会（富山市）

議長交際費を公開します

項目	H25. 4. 1～6. 30	
	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	9	104,292
香典・生花・見舞	1	10,000
土産・贈答	1	2,400
負担金・会費	1	18,000
懇談会		
餞別・激励・協賛金	2	10,000
その他		
合計	14	144,692

朝日町議会が優良議会表彰

富山県町村議会議長会臨時総会が6月4日開催され、朝日町議会が議会運営の向上と住民福祉の増進に努めた功績が認められ、優良議会として表彰されました。

また、水野仁士議員、長崎智子議員が自治功労者として表彰されました。



編集後記



6月議会では、平成25年度一般会計補正予算、追加提案の旧五箇庄小学校跡地施設整備工事契約締結など計16議案が可決されました。

今議会では、主に観光施策が議論されました。平成27年春に開業する北陸新幹線に関し、富山県への目的訪問動向は「観光・レジャー」が9割以上を占めています。人口減少や少子高齢化が加速する当町にとつて、観光誘客、交流人口の増加が不可欠なことは言うまでもありません。

この際、観光振興体制の現状を洗い出し、課題に対しては、迅速かつ効果的な改善が必要です。議会と当局が目的達成に向けて協力することが大切と思っていますので、皆様のご理解とご支援をお願いします。

◇議会だより編集委員

蓬澤 博 水島 一友
西岡 良則 加藤 好進
稲村 功